

開設科目名	科目：住環境学の技術者倫理												担当教員：住環境学科全教員							
開 講 期	後期			授業方法：講 義				単位数：2単位					週時間：2時間							
対 象 学 生	1 回生			科目番号：065390																
授業の概要	住環境学の技術者にとって必要な倫理を多角的な側面から学ぶ。授業は、住環境学科に所属する10名の教員が担当する。各教員が、各々の専門分野において、住環境技術者にとって必要な倫理を具体的な例に則して講述する。																			
学 習 ・ 教 育 目 標	①住環境の各分野で倫理をめぐり、どのようなことが問題になっているかを学ぶ。 ②住環境の技術者に求められる倫理を総合的に把握する。 ②住環境技術者倫理に対して、自分なりの意見をもてるようになる。 ④倫理という点から、卒業までにどのような学習をすべきかがわかるようになる。																			
	対 応 表	A			B		C				D			E		F				
		A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	F-1	F-2	F-3		
					○		◎													
キーワード	技術者倫理、技術者の社会的責任、法律、専門的知識																			
授 業 計 画	①ガイダンス＋まちづくりをめぐって技術者に求められること（中山 徹） ②建築設計業務についての倫理観と現実（長坂 大） ③建築設計業務についての倫理観と現実・続編（長坂 大） ④公共空間や景観の計画設計プロセスにおけるデザイナーの倫理観（宮城俊作） ⑤建築環境における子どもの事故と技術者倫理（瀬渡章子） ⑥建築環境における子どもの事故と技術者倫理・続編（瀬渡章子） ⑦光・視環境計画における技術者の役割（井上容子） ⑧住居管理における技術者の役割（藤平真紀子） ⑨住宅改修における技術者の役割（藤平真紀子） ⑩建築技術者が備えるべき構造知識とそれを担保する技術者倫理（向井洋一） ⑪暖房、冷房環境における技術者倫理（磯田則生） ⑫技術者の意思決定・価値判断がもたらすもの（今井範子） ⑬建築史における建築技術者と倫理（増井正哉） ⑭まとめ（中山 徹） ⑮予備日																			
教 科 書	なし																			
参 考 書	授業中に担当者から適宜、指示する																			
成 績 評 価 方 法	各授業ごとに課題を出す。これで各授業内容に対する理解度を評価する（A4、1枚、期限は1週間程度。ただし担当教員で異なる。）。																			
評価割合	定期試験 （中間・ 期末試験）	小テスト・ 授 業 内 レ ポ ー ト			宿題・授業 外レポート		授業態度・ 授 業 へ の 参 加 度			受 講 者 の 発 表 （プレゼン）			出 席	最 終 レ ポ ー ト	合 計					
	%	%			70%		30%			%			%	%	100%					
備 考	A～Fは住環境学科（専攻）の学習・教育目標である。具体的内容については住環境学科のホームページを参照のこと。 本授業のとりまとめ責任者は中山である。 連絡先：E516（中山） オフィスアワー：毎週月・火曜日 11：00～12：00																			